

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.1
Q1 室内環境			0.40					3.4
1 音環境		3.0	0.15	3.0	1.00			3.0
1.1 騒音		3.0	0.50	3.0	0.50			
1.2 遮音		3.0	0.50	3.0	0.50			
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30			
2 界壁遮音性能		3.0	-	3.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	0.20			
1.3 吸音		-	-	-	-			
2 温熱環境		3.0	0.35	3.0	1.00			3.0
2.1 室温制御		3.0	1.00	3.0	1.00			
1 室温		-	-	-	-			
2 外皮性能		3.0	1.00	3.0	1.00			
3 ゾーン別制御性		3.0	-	-	-			
2.2 湿度制御		-	-	-	-			
2.3 空調方式		-	-	-	-			
3 光・視環境		2.8	0.25	3.5	1.00			3.4
3.1 昼光利用		4.2	0.30	4.0	0.50			
1 昼光率	共用部分:8.6%、住居部分:9.0%	5.0	0.60	5.0	0.50			
2 方位別開口		-	-	3.0	0.30			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20			
3.2 グレア対策		3.0	0.30	3.0	0.50			
1 昼光制御		3.0	1.00	3.0	1.00			
3.3 照度		3.0	0.15	-	-			
3.4 照明制御		1.0	0.25	-	-			
4 空気質環境		4.2	0.25	4.2	1.00			4.2
4.1 発生源対策		5.0	0.60	5.0	0.63			
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆の使用に加えホルムアルデヒド以外のVOCについても放散量が少ない建材を全面的に採用	5.0	1.00	5.0	1.00			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
4.2 換気		3.0	0.40	3.0	0.38			
1 換気量		-	-	3.0	0.33			
2 自然換気性能		-	-	3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	1.00	3.0	0.33			
4.3 運用管理		-	-	-	-			
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-			
2 喫煙の制御		-	-	-	-			
Q2 サービス性能			0.30					2.8
1 機能性		3.5	0.40	2.4	1.00			2.5
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.40	2.0	0.60			
1 広さ・収納性		-	-	-	-			
2 高度情報通信設備対応		-	-	2.0	1.00			
3 バリアフリー計画	段差をなくし、室内も引き戸に統一している	4.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	3.0	0.40			
1 広さ感・景観		-	-	3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-			
3 内装計画		3.0	1.00	3.0	0.50			
1.3 維持管理		3.5	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計	内壁面、床面は抗菌性、防水性の高い仕上材を採用	4.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.1	0.30					3.1
2.1 耐震・免震		3.0	0.50					
1 耐震性		3.0	0.80					
2 免震・制振性能		3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		3.5	0.30					
1 躯体材料の耐用年数	劣化対策等級3相当	5.0	0.20					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	天井・壁クロス20年、床ビニル床シート20年	4.0	0.10					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水VP(B)、汚水排水VP(B)、雑排水VP(B)、Eは不使用	5.0	0.20					
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.20					
2.4 信頼性		2.8	0.20					
1 空調・換気設備		3.0	0.20					
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20					
3 電気設備		3.0	0.20					
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20					
5 通信・情報設備		2.0	0.20					

3 対応性・更新性			3.6	0.30	2.8	1.00	2.8
3.1 空間のゆとり			-	-	2.6	0.50	-
1	階高のゆとり		-	-	3.0	0.60	-
2	空間の形状・自由さ		-	-	2.0	0.40	-
3.2 荷重のゆとり			-	-	3.0	0.50	-
3.3 設備の更新性			3.6	1.00	-	-	-
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	-
2	給排水管の更新性	PS及び室内床下・天井に点検口を設け、埋設配管は行わない計画	4.0	0.20	-	-	-
3	電気配線の更新性	PS及び室内床下・天井に点検口を設け、埋設配管は行わない計画	5.0	0.10	-	-	-
4	通信配線の更新性	PS及び室内床下・天井に点検口を設け、埋設配管は行わない計画	5.0	0.10	-	-	-
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	-
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.2
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30	-	-	3.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上			4.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.9
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.2
1 建物外皮の熱負荷抑制			日本住宅性能評価断熱等級4を取得	5.0	0.20	-	5.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.10	-	3.0
3 設備システムの高効率化			BEI 非住宅 - 住宅(専有部) 0.94	4.6	0.50	-	4.6
集合住宅以外の評価(3a.3b)			1.0	-	-	-	-
集合住宅の評価(3c)			4.6	1.00	-	-	-
潜熱回収型給湯器を全住戸に採用			3.0	0.20	-	-	3.0
4 効率的運用			-	-	-	-	-
集合住宅以外の評価			-	-	-	-	-
4.1 モニタリング			-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制			3.0	-	-	-	-
集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	-
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.8
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水			節水コマ、節水型衛生機器を採用	4.0	0.40	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	1.00	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無				-	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			3.7	0.60	-	-	3.7
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	3.0	0.20	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			型枠:間伐材 ASコン:再生AS 路盤材:RC40	5.0	0.20	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	0.10	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			各種部材が錯綜せず、容易に解体できる	5.0	0.20	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			4.7	0.20	-	-	4.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			ビニル床シート用接着剤、壁紙用接着剤、ガラス用シーリング	4.0	0.30	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避				5.0	0.70	-	-
1 消火剤				-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)			ノンフロン断熱材を採用	5.0	1.00	-	-
3 冷媒				-	-	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.6
1 地球温暖化への配慮			4.5	0.33	-	-	4.5
2 地域環境への配慮			3.5	0.33	-	-	3.5
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善			4.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	-
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-
3 交通負荷抑制			4.0	0.25	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制			2.0	0.25	-	-	-
駐車場、駐輪場を条例に基づき十分に確保している							
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	-
1 騒音			3.0	1.00	-	-	-
2 振動			-	-	-	-	-
3 悪臭			-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	-
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	-
2 砂塵の抑制			1.0	-	-	-	-
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-	-
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	-